

目指す学校像	～全ては子どもたちのために～ 「居がい・学びがい・通わせがい」を感じられる学校
--------	---

重点目標	1 「学習意欲の向上・確かな学力の育成」の実現 2 「心の教育」の充実(「いじめ防止」含む) 3 「特色ある学校づくり」の推進(「見える化」の推進) 4 「開かれた学校づくり」の推進 5 「学校の組織力」及び「教職員の指導力」の向上
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価			実施日令和5年3月15日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	「個別最適な学び」と「協同的な学び」を具現化するために、タブレットの活用はもとより教材の選定等についても進めている。	・「個別最適な学び」と「協同的な学び」の具現化 ・ICT活用による学びの充実	○アクティブラーニング型(児童同士で学びあえる活動を重視した)授業の推進 ○「個別最適な学び」の実現に向けた取組の推進 ○ICT機器(タブレット型パソコン等)を積極的に活用した学習の推進 ○体験的・実践的な活動を多く取り入れた学習活動の推進	○学校評価での肯定的意見の向上 ○ICT機器(児童用タブレット)の活用状況(率) ○体験的・実践的な活動の充実が図られたか。	○学校評価保護者アンケートにおいて基礎学力・授業力に関する項目では91%の肯定的回答を得た。 ○スタディサプリの本校での稼働率は80%を超えていた。 ○一人一台のロボット教材を活用した活動等の校内の教育実践をはじめ、コロナ対応をしながらの全学年の校外学習の実施等を行った。	B	○教員の授業力の向上については、学校課題研修を通して今後も「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具現化に努めていく。 ○ICT機器の活用については、児童のICTスキルの定着を含め、一定の水準に達したので、今後はリテラシーも含めた活用の在り方について実践研究をしていく。	・ICT機器、タブレットの活用については、ただ使うだけでは学力の向上にはつながらない。紙媒体の学習とバランスよく併用することで効果的に活用していくことが大切である。
2	他者との関わりを大切にすること(思いやりや感謝の心)を育むことを中心にいじめ防止も含めた心の教育の充実を進めている。	・心の教育の充実 ・いじめ見逃し0に向けた取組の充実	○他者との関わりを大切にすること(思いやりや感謝の心)を育む取組の充実 ○「心を潤す4つの言葉」の定着に向けた取組の充実 ○いじめ予防・早期発見に向けた取組の強化 ○子ども達の主体活動と関連させた道徳教育・人権教育等の推進	○学校評価での肯定的意見の向上 ○いじめ見逃し0への取組が確実に実施が図られたか ○心の教育への取組が確実に図られたか	○学校評価保護者アンケートにおいてコミュニケーション能力の育成について92%、一人ひとりの子どもたちを大切に教育について89%の肯定的回答を得た。 ○生徒指導委員会の定期開催や生徒指導主任を中心とした組織的対応を行い、いじめ見逃し0の取組を行ってきた。 ○全学級による道徳の授業公開、校内研修等を通して道徳教育推進教員を中心に取組を行った。	B	○本校の人権課題としての「相手意識」について今後さらなる取り組みを行っていく。挨拶、コミュニケーションについて学校家庭地域で連携して取り組んでいくようにする。	・「心の教育」はとても大切である。令和5年度以降も学校の重点目標の一つとして大切にしていきたい ・いじめへの対応について、教職員はよく取り組んでいる。今後も子どもたちの話をよく聞いて丁寧に対応していきたい
3	若田さんのフライトに合わせ夢プロジェクトを進めているSTEAMSTIME等への取組を含め、児童の学びの充実を進めている。	・キャリア教育の推進 ・STEAMS教育の推進 ・SDGs教育の推進	○キャリア教育の推進 ○「宇宙(若田さん)コーナー」「大宮別所小梨園」「学校図書館」等の充実に向けた活動の推進 ○校内掲示板等を活用した「見える化」の推進 ○「総合的な学習の時間」「SDGs教育」「STEAMS教育」等の確実な実施	○学校評価での肯定的意見の向上 ○キャリア教育の推進が図られたか ○STEAMS教育の推進が図られたか ○SDGs教育の推進が図られたか	○学校評価保護者アンケートにおいて創意工夫を生かした特色ある教育活動では96%の肯定的回答を得た。 ○若田さんに関連して、PTAによる壁画作成のほか、打ち上げについての校内での企画や青少年宇宙科学館と連携し取組を行った。 ○ロボットを使った授業実践を行った。 ○SDGs教育について、ゲストティーチャーを招聘した授業の実践や、全国とオンラインでつないだ授業の実践など多く取り組んだ。	A	○キャリア教育において若田さんのとのつながりをより強化していく。(凱旋事業や交流活動) ○STEAMSTIMEの本校での持続可能なスタイルの定着を図っていく。	・若田さんの5度目のフライトを記念した壁画作成はよい活動となった。子どもたちには夢をもって生きてほしい。 ・キャリアパスポートの取組はよいものである。ぜひ途中で途切れることなく継続して取り組んでほしい
4	行事ごとの個別の評価アンケートの実施や学校HPだけではなく手紙の電子化の手立て等を用いることで、より開かれた学校づくりを進めている。	・情報発信体制の充実 ・学校評価の確実な実施と活用 ・コミュニティ・スクールの充実の推進	○情報発信体制の強化(各種お便りや学校HP・学校安心メール等) ○教育活動の様子を伝える機会の充実(学校公開等) ○学校評価アンケート等の充実(PDCAサイクルに基づく学校改善及びフィードバック含む) ○コミュニティ・スクールの推進	○学校評価での肯定的意見の向上 ○情報発信体制の強化が図られたか ○学校評価アンケートが学校改善に役立てられたか ○コミュニティ・スクールの充実が図られたか	○学校評価保護者アンケートにおいて開かれた学校づくりについて95%の肯定的回答を得た。 ○L-gateを活用した学校だより等の電子化を進めた。 ○学校評価を受けた回答、取組について紙面のみではなく、2学期懇談会でを行った。 ○学校運営協議会で熟議した「子供に育みたい力」を柱として第1回SSN会議を実施しコミュニティスクールの充実を図った。	A	○学校だより等の電子化をさらに進めていく ○コミュニティスクールについては、学校運営協議会の組織改編とともに、今後のSSN会議の充実を図っていく。	・次年度の学校運営協議会委員は、学校とともに活動をし、責任をもって子どもと関わることができものが適任であることがよくわかった。今後も学校が発信と受信を大切に教育活動をより良いものにしてほしい。